

GT-eSMART series

GT-ePower-F

取扱説明書

ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください

2020. 03. 13版



目次

はじめに	1
安全にご使用いただくために	1
同梱品	2
各部名称	2
GT-ePower-Fの取り付け方	2
注意事項	
必要な工具	
手動負荷の取り外す	
GT-ePower-Fを取り付ける	
GT-eSMARTシリーズの接続	6
スピードセンサーの校正	6
ステータスLED	8
使用方法	8
使用環境	8
負荷特性(参考)	9
GT-Powerについて	9
故障かな?と思ったら	9

はじめに

このたびは、GROWTACの製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

「GT-ePower-F」は、GT-Roller F3.2及びFlex3専用の電子負荷ユニットです。「GT-eBox」と合わせてご使用いただくことで、GT-Roller F3.2及びFlex3をスマートトレーナーとしてご使用いただけます。

実走感の高いGT-Roller F3.2及びFlex3を、スマートトレーナーにアップグレードすることで、リアルなバーチャルライドをお楽しみいただけます。また、作成されたトレーニングプログラムの再生などによって、効率の良いトレーニングを行うことができます。

本製品によって、お客様のサイクルライフがより一層豊かになることを心より願っております。

安全に正しくご使用いただくため、お使いになる前に本取扱説明書をよくお読みください。

本取扱説明書の内容並びに製品の仕様は、予告なく変更される場合があります。

最新の情報は弊社ホームページ (www.growtac.com) をご確認ください。

本製品を使用したことにより生じたお客様の損害、逸失利益、または第三者のいかなる請求につきまして一切その責任を負いかねます。

また、本製品より取得されたデータなどを利用した際に生じたお客様の損害、逸失利益につきまして一切その責任を負いかねますので、予めご了承ください。

安全にご使用いただくために



室内トレーナーは、誤ったご使用をされますと**火災**や**事故**、故障や誤作動などによる**けが**の原因となることがあります。

本取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

GT-eSMARTシリーズをお使いの際は、本取扱説明書を確認できる状態にしておいてください。

- a. 異常を感じた場合は、すぐに電源を切り、電源ケーブルを本体から抜く。そのまま使用すると、誤作動による転倒や、**火災・感電**の原因となります。
- b. 本体やケーブルを踏むなどして破損した場合には、すぐに電源を切り、電源ケーブルを本体から抜く。そのまま使用すると、誤作動による転倒や、**火災・感電**の原因となります。
- c. 雷が鳴りだしたら、使用を中止し、電源ケーブルや通信ケーブル、本体にさわらない。**感電**の原因となります。
- d. 分解や改造をしない。誤作動による転倒や、**火災・感電**の原因となります。
- e. 磁石が内蔵されている製品や部品を、心臓ペースメーカーなどに近づけない。強力な磁石が心臓ペースメーカーなどの動作に影響を与えることがあります。
- f. 無線通信機器(GT-eBox)を心臓ペースメーカーなどに近づけない。電波により心臓ペースメーカーなどの動作に影響を与えることがあります。
- g. 長期間使わないときは、電源ケーブルを抜く。**火災**や故障の原因となります。
- h. 直射日光の当たる場所や、熱機器の近くなど高温になるところに置かない。**火災**や故障、製品の変形の原因となります。
- i. 本体及びケーブルに水や汗等を付着させない。防塵防滴ではないため、故障や誤作動の原因となります。
- j. 本マニュアルに従って作業を行わない場合には、故障や**けが**の原因となります。
- k. 安全な環境で使用しない場合には、製品の故障や**けが**の原因となります。
- l. 指定の機器やケーブルを使用しない場合には、誤作動や通信不良により、故障や**けが**の原因となります。
- m. **本製品を使用したことにより生じたお客様の損害、逸失利益、または第三者のいかなる請求につきまして一切その責任を負いかねます。**

同梱品

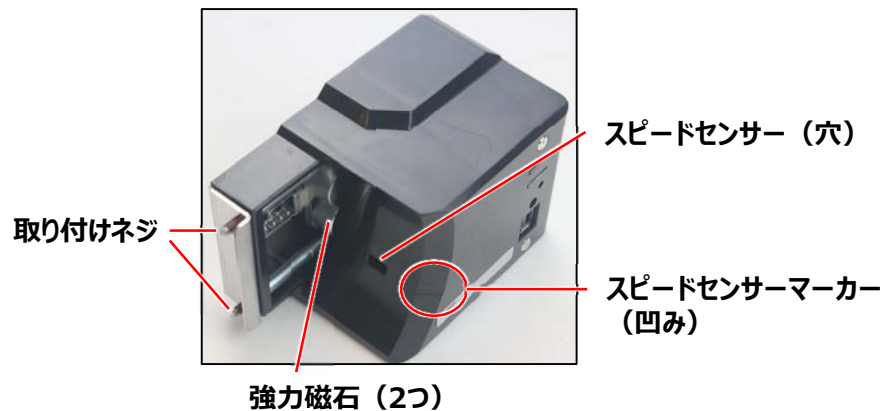
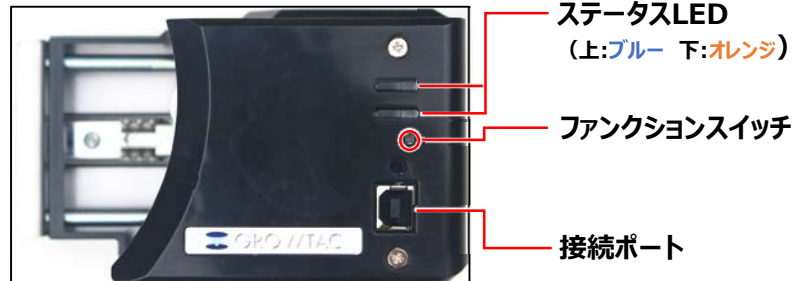
同梱品がそろっているかお確かめください。

※不足がある場合は、お手数ですが、support@growtac.comまでご連絡ください。

- GT-ePower-F(本体) 1ヶ
- 通信ケーブル 1本
- スピード検出シール 2枚
- 取扱説明書(本書)
- 保証書



各部名称

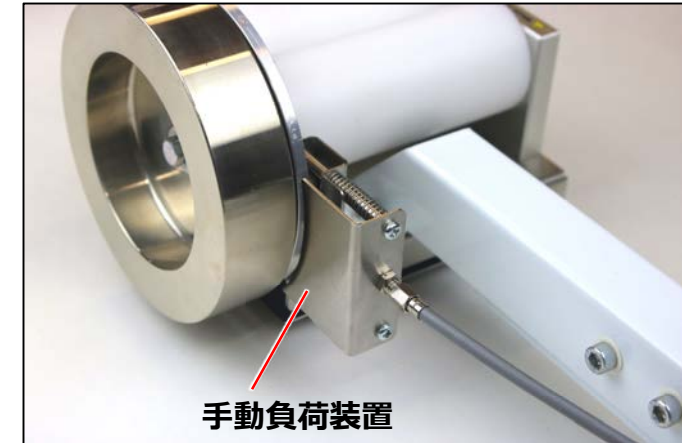


GT-ePower-Fの取り付け方

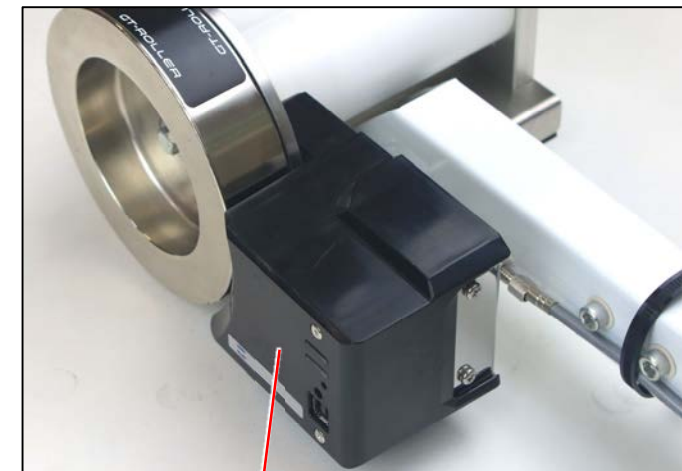
GT-ePower-Fをお使いいただくためには、お持ちのGT-Roller F3.2及びFlex3の手動負荷装置と交換する作業が必要となります。

GT-ePower-Fの取り付け方などに関する動画を、弊社ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

交換前



交換後



注意事項

- 製品の破損やケガ等の可能性があるため、下記の注意事項を守り、取り付け手順に従って、安全に交換作業を行ってください。
- 弊社は、工具の不具合による製品の破損、怪我等につきまして一切その責任を負いかねますので、予めご了承ください。また、交換作業による製品の破損は、保証の対象外となりますのでご了承ください。
- 手動負荷装置及び、電子負荷ユニットには、強力な磁石が内蔵されていますので、取り扱いには十分ご注意ください。**
- 交換作業にご不明な点等がある場合は、support@growtac.comまでお問い合わせください。

必要な工具

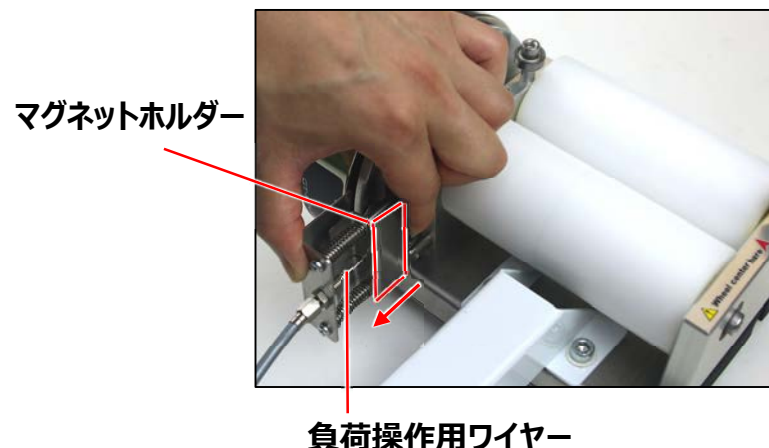
- プラスドライバー(#2)
- ※ ネジに適合した工具をお使いください。
ネジが破損するなどの不具合が生じることがあります。

1. 手動負荷装置を取り外す

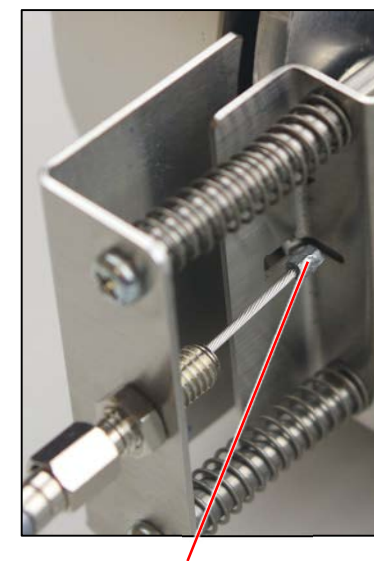
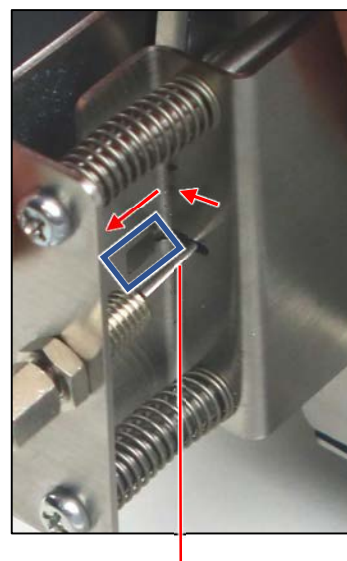
1-1. 負荷調整レバーを、負荷が一番重い状態にします。



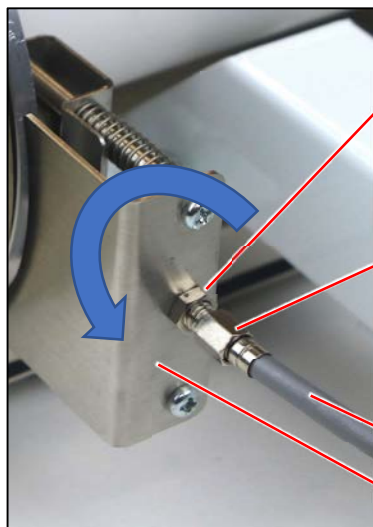
1-2. 負荷操作ワイヤーが少したるむ程度に、マグネットホルダーを矢印方向に動かします。



1-3. 負荷操作ワイヤーを矢印の方向に動かし、マグネットホルダーに引っかかっているワイヤーのタイコを、青枠の部分から外します。



1-4. 手動負荷装置から手動負荷操作作用ワイヤーを外す



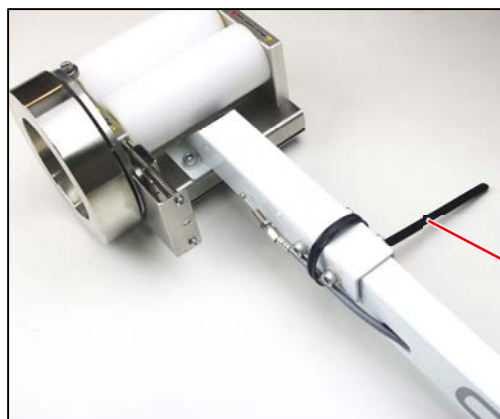
1. ロックナットを半時計回りにまわし、緩める
 2. オスねじ金具を半時計回りに、手動負荷装置から外れるまでまわす
- 手動負荷操作作用ワイヤー
手動負荷装置

2. ワイヤーを固定する

手動負荷操作作用ワイヤーは、写真のようにタイラップ等でGT-Rollerに巻き付けてください。

※タイラップ等は、別途ご用意ください。

※手動負荷操作作用ワイヤーをGT-Rollerから引き抜くこともできます。
引き抜く方法及び注意点等は、P.5とP.6をお読みください。



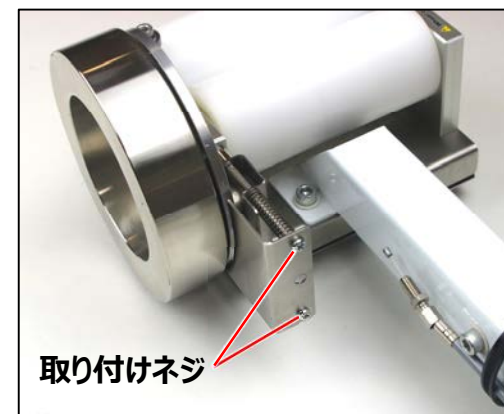
タイラップ

3. 手動負荷装置を外す

プラスドライバー(#2)を使い、ネジを緩めて手動負荷装置を外します。

※ 緩みを防ぐため、非常に硬くネジが取り付けられている場合があります。

※ ネジ穴に適合した工具でないと、ネジが破損するなどの不具合が生じることがあります。



取り付けネジ



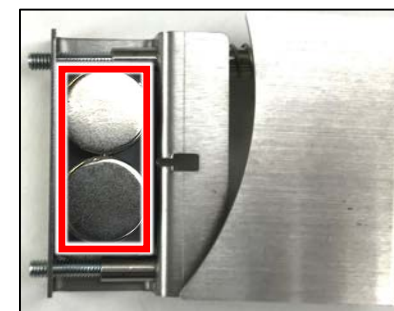
手動負荷装置の危険性について

手動負荷装置には、強力磁石がついております。

取り扱いには、十分ご注意ください。

強力な磁石が他の電子機器の動作に影響を与えることがあります。また、**ケガにつながる事故**を引き起こす可能性がありますので、**安全な場所に保管してください。**

取り外した手動負荷装置は、GT-ePower-Fの磁石部分を覆っていた緩衝材等で包み、**安全な場所で保管してください。**



4. GT-ePower-F を取り付ける

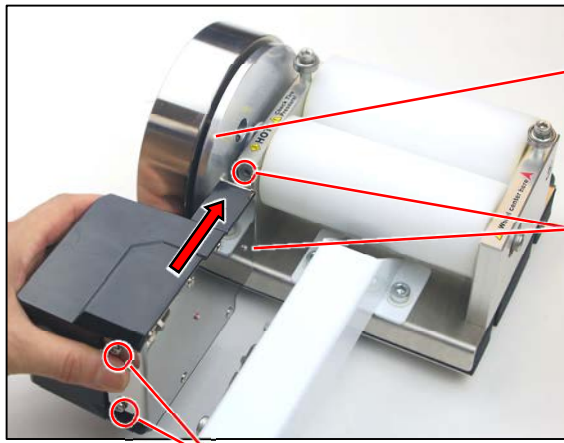
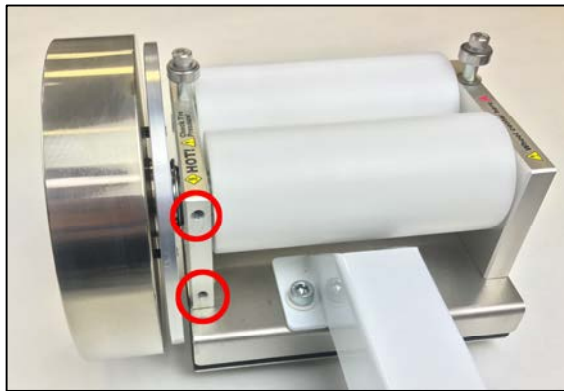
手動負荷装置が付いていたネジ穴（赤丸部分）に、GT-ePower-F をプラスドライバー（#2）を使い取り付けます。指定トルク 2N・m

※取り付けネジには緩み止め剤が付着していますので、締める際に少し抵抗があります。

※取り付けネジは、GT-ePower-Fから外さないでください。

※取り付けネジが緩んでいないか、定期的にご確認ください。緩んでいる場合は増し締めを行ってください。

※強力磁石が誘電ホイールに接触する場合は、GT-Rollerに問題がある可能性がありますので、お手数ですが support@growtac.com までお問い合わせください。



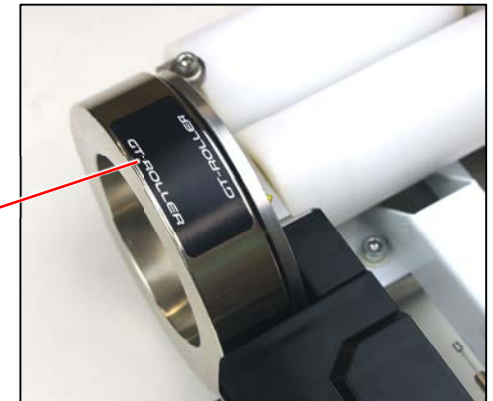
誘電ホイール

取り付けネジ穴

取り付けネジ (2N・m)

5. スピード検出シールを貼る

アルコール等を使い、フライホイールの表面の汚れを落としてください。同梱されているスピード検出シールを1枚、下図を参考にフライホイールの表面に貼ります。



スピード検出シール

※手動負荷操作ワイヤーの取り外し方(任意)

GT-ePower-Fを取り付けた後、手動負荷ワイヤーが不要な場合は、取り外すことができます。（必須ではありません）

※手動負荷を再度使用する可能性がある場合は、ワイヤーを取り外さない事を推奨します。また、取り外す前にGT-ePower-Fの動作確認を行ってください。リモートレバーは、強力な接着剤で固定してありますので、取り外すことはできません。

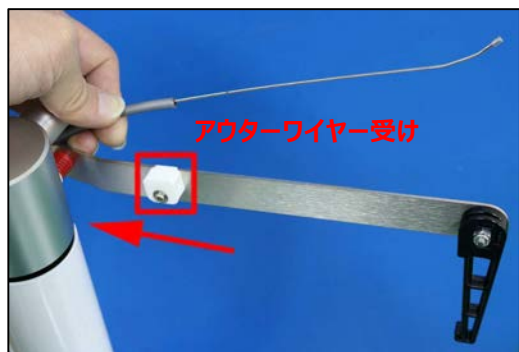
①. 負荷調整レバーからインナーワイヤーを抜く

1. 矢印1の方向にワイヤーを動かし、頭を出してください。
2. 下の穴にずらしてください。
3. 矢印2の方向にワイヤーを動かし抜き取ってください。



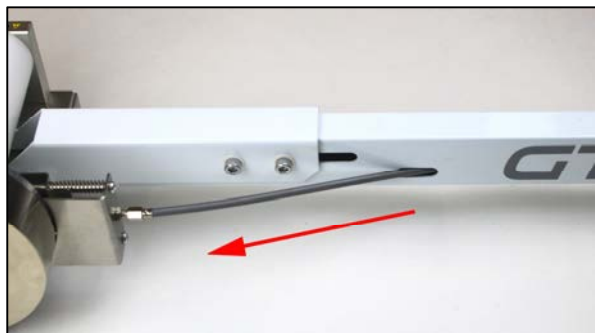
②. アウターワイヤー受けからワイヤーを外す

ワイヤーを矢印の方向に動かし、コントロールレバーのアウター受けから抜き取ります。



③. ワイヤーをGT-Rollerのフレームから抜く

メインフレーム内のワイヤーを矢印の方向に引き抜きます。



GT-eSMARTシリーズの接続

GT-eSMARTシリーズをお使いいただくためには、GT-eBoxを本ユニットに接続する必要があります。
接続方法につきましては、GT-eBox取扱説明書をご参照ください。

スピードセンサーの校正

GT-ePowerをご使用いただく前に、フライホイールの回転数を正確に測定できるようにするため、GT-ePower内のスピードセンサーを校正する必要があります。また、校正には、GT-eBoxとの接続が必要です。スピードセンサーは、フライホイール表面とスピード検出シール面の反射率の差からスピードを検出しています。フライホイール表面を**基準面**として測定した後に、スピード検出シール面を測定します。

注意事項

フライホイールに汚れやサビなどが付着している場合、スピードが正しく検出できないことがありますので、フライホイールの表面(基準面)は汚れがないようにしてください。

また、GT-ePower本体のセンサー部にホコリや汚れが付着している場合にも、スピードが正しく検出できないことがあります。フライホイール表面の汚れがない状態で校正を行っても、スピードが正しく検出されない場合には、本体センサー部の汚れを綿棒などで取り除いてください。

1. 校正モードにする

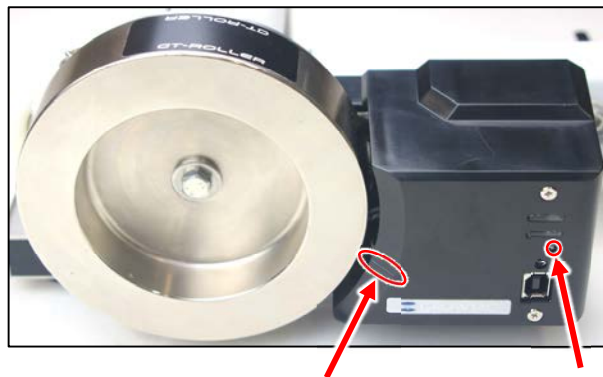
スピードセンサーを校正する場合は、接続したGT-eBoxの電源を予めお切りください。

- 1-1. **ファンクションスイッチ**を押しながら、GT-eBoxの電源を入れてください。
- 1-2. そのままファンクションスイッチを押し続けると、**ステータスLEDオレンジ**が点灯した後に、上下の**ステータスLEDブルー+オレンジ**が同時に2回点滅し、校正モードに入ります。
- 1-3. **ステータスLEDオレンジ**のみが点灯したら、ファンクションスイッチから手を離してください。



2. 基準面の測定

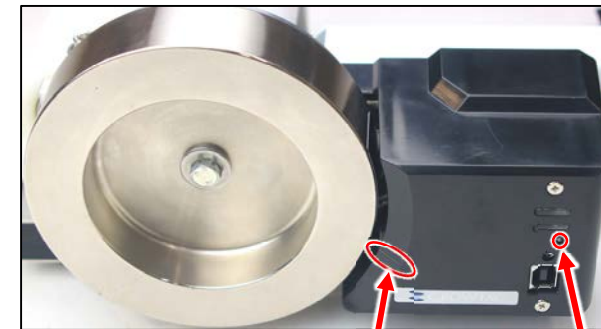
- 2-1. フライホイールの [スピード検出シールが貼られていない位置] にスピードセンサーマーカを合わせる。
- 2-2. ステータスLED**オレンジ**点灯中に、ファンクションスイッチを押すと、ステータスLED**ブルー**が点灯し、測定を行います。
※ファンクションスイッチを押し、測定している瞬間は動かささないください。
- 2-3. ファンクションスイッチから手を離すと、ステータスLED**ブルー**が消灯します。
- 2-4. 1～3の手順を、2回（計3回）行います。
※ローラーを少しずつ回して、3回とも異なる箇所測定する必要があります。
- 2-5. 基準面の測定が完了すると、ステータスLED**オレンジ**が消灯し、ステータスLED**ブルー**が点灯します。



スピードセンサーマーカ ファンクションスイッチ

3. スピード検出シール面の測定

- 3-1. フライホイールの [スピード検出シールが貼られている位置] にスピードセンサーマーカを合わせる。
- 3-2. ステータスLED**ブルー**が点灯中に、ファンクションスイッチを押すと、ステータスLED**オレンジ**が点灯し、測定を行います。
- 3-3. ファンクションスイッチから手を離すと、ステータスLED**オレンジ**が消灯します。
- 3-4. 1～3の手順を、2回（計3回）行います。
※ローラーを少しずつ回して、3回とも異なる箇所測定する必要があります。



ファンクションスイッチ
スピードセンサーマーカ




4. 校正モードの終了

校正モードが終了すると、両ステータスLEDが同時に2回点滅します。校正モード終了直後に、フライホイールの回転をスピードセンサーが検出すると、ステータスLED**ブルー**が数回点灯します。

ステータスLED

ステータスLEDからGT-ePower-Fの状態を知ることができます。

正常時のステータスLEDパターン

-  両ステータスLED(ブルー+オレンジ)が消灯
→電源が入っていない状態
-  ステータスLEDオレンジが点灯
→電源が入っている
※電源は通信ケーブルから供給されます
-  両ステータスLED(ブルー+オレンジ)が点灯中
→負荷変更中

※上記のパターン以外は、異常時のステータスになります。
GT-ePower-Fの動作が停止するなどした場合、ステータスLEDをご確認ください。
ステータスLEDの点滅パターンによって、原因を知ることができます。異常ステータスの確認は、P.9をご参照ください。

使用方法

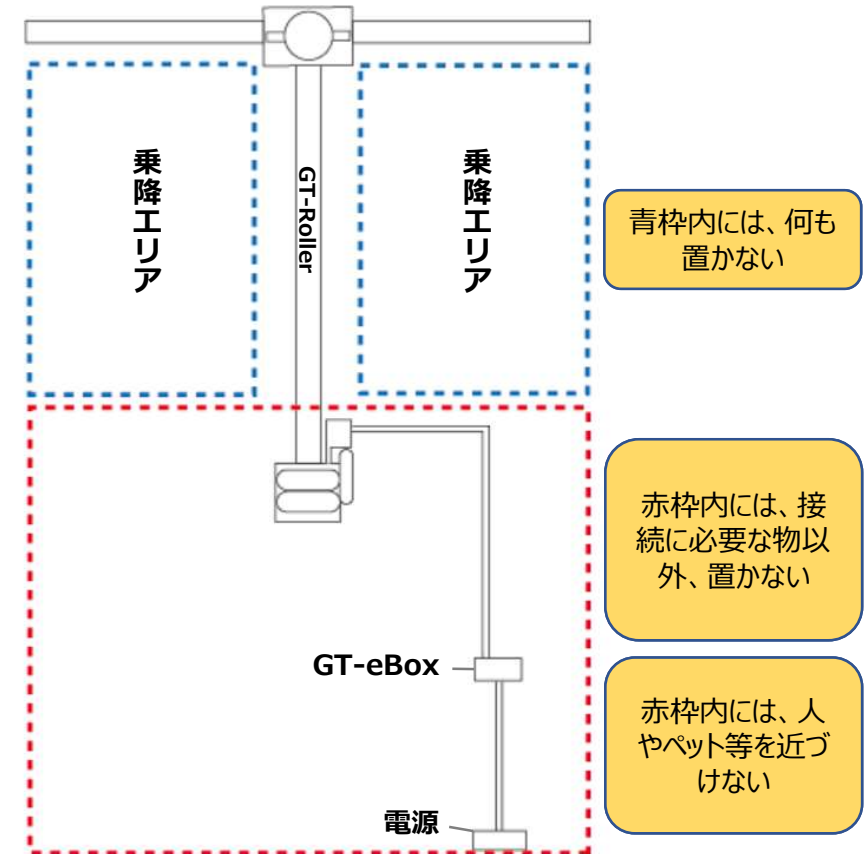
スマートフォンなどからGT-ePower-Fを操作するには、GT-eBoxが必要です。

GT-eBoxとスマートフォンなどの無線接続方法は、GT-eBox取扱説明書をご参照ください。

使用環境について

下図を参考に安全な環境でご使用下さい。

動作環境条件
使用中の温度：0℃～+50℃（結露のないこと）



※室内トレーナーを使用中にバランスを崩すと転倒し、怪我をするおそれがあります。怪我防止のためにヘルメット等の安全具の着用を推奨します。

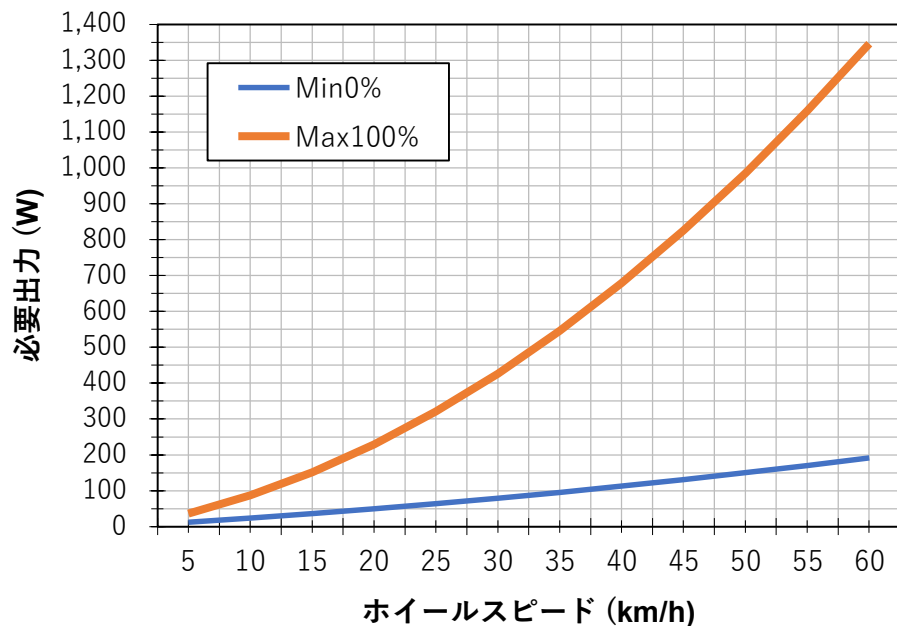
※GT-eSMARTシリーズ製品やGT-Roller及び接続ケーブルに異常や破損等がないことを確認してからご使用ください。

※クイックリリース、またはスルーアクスルの固定力が弱く、GT-Rollerに自転車のフォークがしっかりと取り付けられていないまま使用すると、自転車のフォークがGT-Rollerの取り付け部から外れる場合があります。その場合は、取り付けられていた自転車の破損、または大けがを負う可能性があります。

※本体及びケーブルに水や汗等が付着した場合、速やかに拭き取ってください。

負荷特性(参考)

負荷特性は、温度等の室内環境や使用者の体重、タイヤ等の違いによって、変化します。



GT-Powerについて

GT-Powerは速度/負荷/体重/車重/室内環境などから独自アルゴリズムを用いて求める想定パワー値となります。このGT-Powerを使用して、パワートレーニングやヴァーチャルライドを行うことができます。

想定パワー値となるため、一般的なパワーメーター(クランク型やハブ型など)の値とは、異なることがあります。

スマートフォン専用アプリ「GT-eRemote」から補正を行い、GT-Powerの精度をより向上させることができます。

故障かな?と思ったら

GT-ePower-Fに異常を感じた場合、ステータスLEDをご確認ください。ステータスLEDの点滅パターンによって、原因を知ることができます。

異常時のステータスLEDパターン

点滅パターンが表示される前に、2つの両ステータスLED(ブルー/オレンジ)は一度消灯し、ステータスLEDオレンジが点滅します。



・ステータスLEDオレンジが2回点滅

GT-eBoxとの通信にエラーが発生しています。ケーブルがきちんと差し込まれていない、または他の通信機器と混線等している可能性があります。GT-eBoxの電源を落とし、確認をしてください。



・ステータスLEDオレンジが3回点滅

GT-eBoxと一定時間通信がありません。GT-eBoxの電源を落とし、ケーブルがきちんと差し込まれているか確認をしてください。

確認後も症状が改善されず、故障と思われる場合は、support@growtac.comまでご相談ください。